

## 研修No. 5 7

## 2022 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022年 3月 31日
研究・研修課題名	認定血液検査技師資格更新試験の受験と資格更新
研究・研修組織名(所属)	検査部
研究・研修責任者名(所属)	石原 智子(検査部)
研究・研修実施者名(所属)	石原 智子、兒玉 るみ(検査部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果( )
該当者名(所属)	石原 智子、兒玉 るみ(検査部)
学会名(会期・場所)、認定名等	第 23 回日本検査血液学会学術集会、 認定血液検査技師更新
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有( ) <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

## 目的及び方法、成果の内容

## 1. 目的

認定血液検査技師資格は、血液検査分野における高度な学識と技術を有する臨床検査技師の育成を図り、より良質な医療を国民に提供することを目的とした制度である。認定血液検査技師としての知識と技術の維持および向上を図るために実施される資格更新試験を受験し、資格を更新する。

## 2. 方法

- ① 第 23 回日本検査血液学会学術集会に参加して最新の知見を得るとともに認定血液検査技師更新のための単位を取得する。
- ② 認定血液検査技師更新試験(2022 年度は E-learning 形式で実施)を受験する。
- ③ 日本検査血液学会に認定更新申請書類を提出し、審査の結果必要な条件が満たされているれば認定血液検査技師の更新が認定される。更新条件としては、5 年間継続して日本検査血液学会の会員であること、血液検査学に関する学術論文・学会発表等の業績、学会・研修会への参加、さらに講演会・研修会での活動、技師教育への関与等により、認定血液検査技師更新の資格審査基準単位 50 単位以上を取得していること、5 年間に日本検査血液学会学術集会に 2 回以上参加していることが必要である。

## 3. 成果

- ① 第 23 回日本検査血液学会学術集会に参加して最新の知見を得るとともに認定血液検査技師更新のための単位を取得した。本検査血液学会は検査血液学の向上を目的とした学会で、今回参加した第 23 回日本検査血液学会学術集会は「原点を見つめ直そう！日本検査血液学会」をテーマに掲げ、種々の血液検査や血液細胞の形態学について様々な講演やセミナー、発表など多彩なプログラムが準備されていた。今回特に勉強になったプログラムはタスク・シフト/シェアの今後の展開と課題、血液検査室から臨床への情報提

(様式1)

供についてであった。また、形態診断のためのケースカンファレンスがあり、ホームページに末梢血液像、骨髄像の写真と骨髄像の鏡検動画が掲載されており、それに対しての症例検討会が開催されとても実りあるカンファレンスだった。

- ② 認定血液検査技師更新試験(2022年度はE-learning形式で実施)を受験した。認定を更新する際に必ず更新試験があることで、知識の維持ができて有意義な試験だと感じた。
- ③ 日本検査血液学会に認定更新申請書類を提出し、申請手続きを行った。審査の結果、資格更新が認定された。

なお、認定骨髄検査技師の資格を有している場合は、認定骨髄検査技師の資格更新に伴い、自動的に認定血液検査技師の資格も更新される。

今回、検査血液学において専門性の高い知識と技術を新たに学習することで、認定血液検査技師のスキルアップにつながった。これからも、血液検査において付加価値の高いデータを臨床診療に持続的に提供するとともに、学生や研修医への教育、後進の指導を行っていきたい。